

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 ともに支えあう福祉社会を実現する
<b>施策</b>	01 地域福祉を充実する		

<b>基本方針</b>	だれもが住み慣れた地域で、安心して健やかな日常生活を営み、さまざまな分野の活動にいいきと参加することができるよう、「自助」「共助」「公助」の考え方を踏まえた、ともに支えあい、助けあう地域社会の実現をめざします。
-------------	---

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・加古川市社会福祉協議会が受託可能な業務について、同協議会と本市関係各課による協議を行うなど、地域福祉の充実を図った。</p> <p>・総合福祉会館の大規模改修工事については、平成27年度に設計委託を行い、平成28年度から2箇年にかけて工事を実施し、地域福祉の中核的施設としての機能強化を図っていく。</p> <p>・平成28年3月に第3期地域福祉計画を策定した。同計画では、自助・互助・共助・公助の連携とともに、地域で暮らすすべての人を支える仕組みとなるような地域包括ケアシステムの構築をめざすこととしている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
ボランティアセンター登録者数	人	2,185 (平成22年度)	1,929 (平成27年度)	2,300
地域活動等への参加率	%	43.6 (平成21年度)	—	50
地域での福祉ボランティア活動の広がりに関して満足している市民の割合	%	41.5 (平成20年度)	43.5 (平成26年度)	49

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 ともに支えあう福祉社会を実現する
<b>施策</b>	02 出産と子育ての支援を充実する		

<b>基本方針</b>	次代を担う子どもを安心して生み、育てることができるよう、みんなで、子どもや子育て家庭を見守り、支えあうまちづくりを進めます。
-------------	--

## 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>次代を担う子どもを安心して生み、育てることができるよう、子育て家庭に対して経済的な負担の軽減を図るための事業として、乳幼児等医療費、こども医療費、母子家庭等の医療費を助成している。平成27年7月から、小学校4年生から中学校3年生までの通院医療費について、1医療機関ごとに月2回まで1日400円を上限とする定額負担へと制度を拡充した。</p>	

## こども部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>子ども・子育て支援法に基づき、新たに利用者支援専門員の配置や実費徴収補足給付事業などを実施し、子育て支援の充実を図ることができた。また、市内施設において病児保育事業を開設し、働く保護者の保育需要に応え、安心して子育てができる環境整備が図れた。</p> <p>待機児童の解消については、既存施設の定員拡充、新規施設の整備、認可外保育施設の認可化により定員増を図った結果、待機児童数は前年度より減少したものの解消には至っていない。今後も引き続き定員増を図り、待機児童解消に取り組んでいく。</p> <p>多子世帯保育料補助(軽減)事業については、当初の計画どおり実施し、保護者の負担軽減に寄与することができた。引き続き、県の動向を踏まえて対応していく予定である。</p> <p>妊婦健康診査費助成事業の拡充を行うとともに、妊婦歯科健康診査事業を新たに開始し、妊婦の健康管理の向上を図ることができた。また、妊娠期からの育児不安の解消及び乳幼児の健やかな発育発達を支援するために、両親学級や各種親子教室の開催、妊娠届出者のうち指導が必要な妊婦に対する家庭訪問や電話指導、出産後の新生児訪問やこんにちは赤ちゃん訪問等を実施することにより、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつけることができた。</p> <p>なお、第二次母子保健計画である「健やか親子21計画」を平成28年2月に策定した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
待機児童数	人	11 (平成22年度)	140 (H28.4.1現在)	0
乳幼児家庭全戸訪問事業実施率	%	88.1 (平成21年度)	96.4 (平成26年度)	100
子育てと仕事が両立できる環境に関して満足している市民の割合	%	31.1 (平成20年度)	29.2 (平成26年度)	39

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 ともに支えあう福祉社会を実現する
<b>施策</b>	03 障がい者の福祉を充実する		

<b>基本方針</b>	障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう、障害の状況やライフステージに応じた障がい者福祉サービスの充実を図るとともに、社会参加を支援し、ノーマライゼーションの理念に基づくまちづくりを進めます。
-------------	---

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
障がい者の福祉の充実を目的として、障がい者が地域で安定した生活を送ることができるよう、医療費の助成及び無年金外国籍障害者等への給付金支給を行っている。医療費の助成及び無年金外国籍障害者等への給付金支給を通じて、障がい者の経済的負担の軽減など生活支援が実施できている。	

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・相談体制の充実のうち、計画相談支援については、サービス等利用計画の作成を担う相談支援事業所等に対して、相談支援専門員初任者研修の受講を促したことで、ほぼ100%の達成率とすることができた。</p> <p>また、基幹相談支援センターの設置については、広域での実施の可能性など幅広い視点から具体的に検討を行った。</p> <p>・市立知的障害者総合支援センターの施設改修については、3ヵ年計画の最終年度として、宿泊棟の空調改修を実施した。</p> <p>また、既存設備の老朽化に伴い、雨水配水管付け替え工事を実施した。</p>	

### こども部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
行政組織内や関係機関との連携・情報共有を積極的に行うとともに、新たに法人保育園の保育士を対象に研修会を実施するなど、地域の中核的な療育支援施設としての役割を強化することができた。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
グループホーム・ケアホームの市内利用定員数	人	23 (平成22年度)	37 (平成27年度)	50
就労支援センター利用者の就職件数	人	184(平成5～21 年度の累計)	258(平成5～26 年度の累計)	244(平成5～27 年度の累計)
高齢者や障がい者に対する支援に関して満足している市民の割合	%	30.0 (平成20年度)	38.0 (平成26年度)	37

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 とともに支えあう福祉社会を実現する
<b>施策</b>	04 高齢者の福祉を充実する		

<b>基本方針</b>	高齢者が住み慣れた地域で、元気に安心して暮らすことができるよう、保健・福祉・医療サービスの連携による総合的な支援体制を構築します。また、高齢者がこれまで培ってきた経験や知識を生かして、生きがいを持って社会参加できるまちづくりを進めます。
-------------	--

## 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>高齢者が地域で元気に安心して暮らすことができるよう、医療費の助成及び無年金外国籍高齢者等への給付金支給を行っている。医療費の助成及び無年金外国籍高齢者等への給付金支給により、低所得高齢者に対して経済的な負担の軽減など生活支援が実施できている。</p>	

## 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>高齢者の就労については、シルバー人材センターなどを通じて高齢者がもつ経験や能力を活かした就労機会の提供を継続して支援しており、高齢者の生きがいづくりに寄与している。</p>	

## 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・地域包括支援センターについては、職員を加配し体制の充実を図るとともに、地域において地域課題等の解決のため地域ケア会議を開催した。また、地域の在宅医療・介護連携推進のため、関係機関と協議を重ねるとともに、生活支援体制整備に向けて社会資源の把握等を行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステム構築を進めている。</p> <p>・認知症初期集中支援チームについては、認知症サポート医及び1市2町の担当課で設置について協議を重ね、平成28年度中に設置する。また、認知症の人や家族を支援するため、認知症カフェ設立補助に向けた検討を行う等、認知症施策総合推進事業の推進を図っている。</p> <p>・介護予防に関する知識の普及啓発については、地域包括支援センターと連携し、前年同様に実施することができた。(平成26年度797回、18,749人 平成27年度803回、18,475人)</p> <p>・平成27年度の介護保険法改正により、通所型介護予防事業を廃止し、平成26年度より地域の身近な場所において住民自らが介護予防に取り組めるよう支援を行った。介護予防への意識の向上とともに、取り組む団体も増加している。(平成26年度9団体、登録者数189人 平成27年度37団体、登録者数940人)</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
地域高齢者健康教育実施箇所数	箇所	128 (平成21年度)	211 (平成27年度)	200
認知症サポーター養成講座受講者数	人	3,281 (平成19～21年度の累計)	18,415(平成19～27年度の累計)	12,000 (平成19～27年度の累計)
高齢者や障がい者に対する支援に関して満足している市民の割合	%	30.0 (平成20年度)	36.2 (平成26年度)	37

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 とともに支えあう福祉社会を実現する
<b>施策</b>	05 自立を支える社会保障制度を適正に運営する		

<b>基本方針</b>	社会連帯の理念のもと、すべての市民が安心して自立した生活を送ることができるよう、社会保障制度を適正に運営します。
-------------	--

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>平成28年4月から収納・徴収業務を税務部で一元化するため、事務を見直すとともに、マニュアルの整備を行った。</p> <p>新規保健事業のがん検診促進事業については、胃がん検診が11.8%、肺がん検診は14.6%の受診率となり、受診率向上を図る必要がある。</p> <p>データヘルス計画については健康課との協力により策定した。今後は、計画に基づいた保健事業を積極的に展開していく。特に重症化予防事業については、27年度においても実現に至らず、再度、関係機関に協力を求めていく。</p>	

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度においては、適正に要介護認定事務や制度運営に係る事務を進めることができている。</li> <li>また、平成26年度中に策定した第6期介護保険事業計画に基づき、市民ニーズに沿った介護保険制度の運用や、今後の高齢化率の上昇に対応するための施設・事業所の整備を進めることができた。</li> <li>・生活保護制度においては、被保護世帯の生活援護に向け、扶助費の支給事務及び関係機関との連携が適正に実施されている。</li> <li>・生活困窮者自立支援制度については、困窮世帯が自立した生活が送れるよう、適正な支援ができている。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
国民健康保険加入者の特定健康診査受診率	%	35.0 (平成21年度)	32.5 (平成26年度)	65
介護サービスに関する相談対応件数	件	5,758 (平成21年度)	17,099 (平成27年度)	7,000
介護保険など社会保障制度の適正な運営に関して満足している市民の割合	%	31.0 (平成20年度)	32.1 (平成26年度)	38

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 健康づくりや地域医療を充実する
<b>施策</b>	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る		

<b>基本方針</b>	生涯を通じて健康に過ごすことができるよう、市民一人一人の健康意識の向上と、市民の自主的な健康づくり活動を支援します。
-------------	--

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
今年度から開始した後期高齢者歯科健診は受診率が9.5%であった。今後も引き続き制度を周知し、さらなる受診者の増加に努めたい。	

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
スポーツや文化、市民の総合的な健康づくりの普及啓発事業を実施する(公財)加古川市ウェルネス協会の事業に対して補助するとともに、スポーツ施設の管理運営を通じて市民の健康づくりの支援を行った。	

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
・自殺予防事業では、教育委員会と連携しながら教職員対象のゲートキーパー養成研修を実施した。また、継続した人材育成を目的に、傾聴の「基礎編」「実践編」2回の健康講座を開始した。 ・予防接種法に基づく定期接種(高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌)の費用の一部助成を実施することにより、疾病の発生及びまん延を予防することができた。 ・がん検診受診率向上のため、市のイベントを活用して普及啓発を行った。 ・「ウェルネスプランかこがわー第2次健康増進計画・食育推進計画」に基づき、庁内関係課による庁内推進会議及び庁外関係団体で構成するウェルネスプランかこがわ推進連絡会を実施するなど、推進体制を整備した。	

### こども部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
予防接種法に基づく定期接種の実施並びに任意接種であるおたふくかぜ及び季節性インフルエンザのワクチンの接種費用の一部助成を実施することにより、疾病の発生及びまん延を予防することができた。	

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 健康づくりや地域医療を充実する
<b>施策</b>	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る		

<b>基本方針</b>	生涯を通じて健康に過ごすことができるよう、市民一人一人の健康意識の向上と、市民の自主的な健康づくり活動を支援します。
-------------	--

### 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
学校保健安全法等に基づき、児童生徒等の健康保持増進及び学校環境衛生の保全を図り、感染症予防等に努めた。	

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>学校安全衛生事業では、産業医の学校訪問等による職場改善指導において、教職員への健康指導や職場環境の改善が推進されている。今後は、産業医から提示された具体的な改善策について検討し、より快適な職場環境形成に向けた取組の充実に努めていくことが求められる。</p> <p>教職員健康相談事業では、健康相談医による健康相談、健康診断等により教職員の健康の保持増進が図られている。教職員健康診断受診率も目標値を達成することができた。今後は、ストレスチェックの実施等も含め、検査項目や方法等について、定期的な見直しを行っていくことが求められる。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
がん検診受診率	%	10.5～17.6 (平成21年度)	8.3～18.7 (平成26年度)	50
毎日朝食をとる市民の割合	%	87.7 (平成19年度)	86.5 (平成24年度)	100
住民健診の充実や健康づくりの推進に関して満足している市民の割合	%	53.3 (平成20年度)	62.1 (平成26年度)	59

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 健康づくりや地域医療を充実する
<b>施策</b>	02 地域医療を充実する		

<b>基本 方針</b>	いつでも安心して医療サービスを受けることができるよう、医師会などとの連携のもと、かかりつけ医の普及促進など地域に密着した医療サービスの提供と、医療機関相互の連携強化による救急医療体制の充実に努め、地域医療体制の確立をめざします。
------------------	--

### 企画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に医師や看護師が不足するなか、地方独立行政法人加古川市民病院機構では着実に医師等を確保し、公的病院として救急医療や高度専門医療を安定して提供できた。また、加古川中央市民病院の建設整備は、平成28年秋の開院をめざしていたが、建設工事が順調に進み、開院時期を平成28年7月1日に早めることができた。</li> <li>・新病院の開院と東西市民病院の閉院をお知らせするポスターを作成し、町内会等を通じて周知を図った。</li> <li>・病院跡地活用については、市民意見を踏まえ、跡地活用方針を決定したほか、医療機能の誘致や既存建物の活用に対する民間事業者との対話により公募条件の実現可能性を確認し、パブリックコメントを経て平成28年3月に跡地活用計画を策定した。</li> <li>・地域医療体制において、中核病院としての機能を確保できており、地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会において、平成27年度業務実績に関する評価は、「年度計画及び中期計画のとおり進捗している」と評価された。</li> </ul>	

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日昼間及び夜間の一次救急における医師確保については課題が残っているものの現行体制を維持しており、一次救急及び二次救急については、大きなトラブルもなく、円滑な対応ができた。</li> <li>・休日昼間の一次救急定点化について、高砂市を含めた2市2町での事務レベルの協議を進めてきた。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
介護認定を受けておらず在宅で生活している65歳以上の者がかかりつけ医を持つ割合	%	77.3 (平成20年度)	—	100
4か月児から3歳児の親がかかりつけ小児科医を持つ割合	%	89.0 (平成19年度)	95.4 (平成27年度)	100
安心できる医療体制に関して満足している市民の割合	%	34.5 (平成20年度)	45.6 (平成26年度)	42

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 市民生活の安全・安定を確保する
<b>施策</b>	01 災害・非常事態に対応する体制を充実する		

<b>基本方針</b>	市民生活における安全・安心を確保し、市民の生命と財産を守るため、総合的な危機管理体制を確立するとともに、地域防災力の向上に努めます。
-------------	--

## 総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>防災訓練の実施や備蓄資機材の購入については、概ね計画どおりに実施し、危機管理体制や地域防災力の向上に向け一定の成果があった。</p> <p>また、総合防災マップの浸水想定区域などを公開版地図情報システム「かこナビ」へ掲載し、パソコンやスマートフォンなどを通じて市民が閲覧できるよう環境を整備した。</p> <p>自主防災組織への資機材購入補助については、未申請の対象町内会が多いため、対象町内会に対するより一層の周知に努め、活用を促す必要がある。</p>	

## 消防本部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>平成27年9月には関東・東北豪雨により甚大な被害が発生するなど、全国各地で台風、集中豪雨による自然災害が数多く発生している。また、南海トラフ巨大地震や山崎断層帯地震の発生が危惧されている中、平成28年4月には九州地方で地震が多発し、改めて自然災害の脅威を思い知らされたところである。このような中、今後、加古川市においても大きな被害をもたらす自然災害等に確実に対応するためには、自助・共助・公助が互いに連携することが大切である。そのためには、防災拠点となる防災センターの整備・維持補修等を行い、その機能の充実・維持を図り、市民に対する地域防災意識の高揚を図ることが必要である。また、法華山谷川流域を中心とする地域における水防対策のため、志方分署敷地内に水防倉庫を建設し、老朽化していた志方町の水防倉庫を撤去した。また、円滑に水防活動を実施するため、市内の2消防署6消防分署の8水防倉庫等に備蓄する緊急用土のう数を明確に示し、常に各水防倉庫等で適正数を確保することとした。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
防災訓練参加者数	人	4,252 (平成21年度)	5,003 (平成27年度)	5,000
何らかの防災対策に取り組んでいる市民の割合	%	51.3 (平成20年度)	53.3 (平成26年度)	70
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	%	45.8 (平成20年度)	41.7 (平成26年度)	53

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 市民生活の安全・安定を確保する
<b>施策</b>	02 消防・救急体制を充実する		

<b>基本 方針</b>	市民の生命と財産を災害から守り、市民生活の安全確保と被害の軽減を図るため、総合的な消防・救急体制の確立をめざします。
------------------	--

## 消防本部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>災害が複雑多様化する昨今、都市化の進展に伴い各種災害は多様化し、地震、台風、局地的な豪雨などの自然災害や予測できない大規模事故の発生が危惧されている。また、高齢化社会により救急出動件数は増加の一途を辿り、市民の消防に対する期待度は、ますます高まっている。このような中、より質の高い市民サービスを提供するためには、広い視野を持った人材育成、適正な消防水利整備計画、空気呼吸器等の資機材整備、消防庁舎の整備・維持管理等「消防力の三要素」をバランス良く整備していくことが、市民生活の安全・安心に繋がると考えている。また、大量退職による現場消防力の低下を招かないよう、最新の知識及び技術習得のため各種教育機関への入校、また、各種資格を取得させ、職員力及び質の向上を図る。</p> <p>常備及び非常備の消防庁舎等の整備・維持管理については、各種施設において耐用年数に到達しようとする施設も存在するが、署所の整備は「加古川市公共施設等総合管理計画」、維持管理は「営繕システム」により、防災拠点として必要最低限の機能維持が図られている。また、消防車両については「車両更新計画」に基づき更新及び維持管理している。</p> <p>火災予防事業については、放火防止対策について、放火防止対策委員会の基本方針に基づき、強化地域に指定したエリアでの放火監視機器設置や地域での監視協力体制を推進した結果、火災件数及び放火件数とも減少している。これも各種団体の協力のもと、効果的な火災予防運動が展開できたものと考えている。住宅用火災警報器の設置については、設置率が77.3%と昨年度より上昇しているものの、全国平均を下回っていることから、さらなる設置率向上のため普及啓発活動を継続して行う必要がある。</p> <p>指令システム管理事業については、高機能消防指令センターに係る操作技術について、各種チェックシートを活用し、さらなる向上に努めている。また、相談通報については、24時間対応の総合的な医療相談窓口の創設やその他のシステム導入について、引き続き調査研究する。</p> <p>消防団活動事業については、広報活動等により引き続き人員の確保を図る。活動面については、個人装備の充実強化はもとより、常備・非常備消防がより一層連携強化を図る必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
出火件数	件	149(平成18～22年の平均)	69 (平成27年)	120
救命講習の受講者数	人	2,223 (平成22年)	1,888 (平成27年)	2,500
消防や救急救命体制に関して満足している市民の割合	%	53.3 (平成20年度)	66.0 (平成26年度)	59

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 市民生活の安全・安定を確保する
<b>施策</b>	03 防犯・交通安全対策を推進する		

<b>基本方針</b>	市民の防犯・交通安全意識の高揚に努めるとともに、警察や防犯協会など関係機関と連携しながら、地域における防犯・交通安全対策を進めます。
-------------	--

## 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>警察をはじめ、防犯協会や交通安全協会など関係機関と連携し、犯罪の発生や交通事故を減らすために交通安全教室や街頭啓発活動などを行った。また、犯罪や交通事故を未然に防止するため、青色回転灯を装着した防犯・交通パトロールカーによる巡回パトロールをすることで、登下校時や夜間の見守りを実施した。</p> <p>さらに、地域における犯罪発生を抑止するため、防犯カメラを設置する地域団体に設置費用の一部を補助した。</p> <p>今後も、犯罪と交通事故のない「安全・安心なまちづくり」への取り組みを進めるため、地域における交通安全運動や防犯活動を推進していきたい。</p>	

## 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>・加古保護区保護司会、加古地区更生保護女性会の支援施策として、補助金を交付するとともに、「社会を明るくする運動」啓発活動への協力などを行った。</p>	

## 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>児童の登下校時の安全確保のため、関係機関等の連携のもと、「外側線やカラー舗装の整備」等のハード面と、「交通安全教室や啓発」等のソフト面の両面での取り組みを進めた。また、各関係機関による「加古川市通学路安全推進会議」を設置し、取り組みの基本方針となる「加古川市通学路交通安全プログラム」を策定した。今後は、プログラムに基づき、合同点検の実施、対策の実施、対策効果の検証、改善を一連のサイクル(PDCAサイクル)としても繰り返して実施する。</p> <p>交通安全指導員事業については、市内小学校の通学路96箇所交通安全指導員を配置し、児童の登下校時の安全を確保した。今後は、危険箇所には引き続き交通安全指導員を設置するとともに、地元町内会、PTA等のさまざまなボランティア団体等と連携を図り、総合的な交通安全の見守り事業を検討する。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
刑法犯罪発生件数	件	5,116 (平成21年)	3,879 (平成27年)	4,500
交通人身事故発生件数	件	2,142 (平成22年)	1,696 (平成27年)	2,000
子どもの見守りやパトロールなどの安全対策に関して満足している市民の割合	%	51.0 (平成20年度)	51.3 (平成26年度)	56

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 市民生活の安全・安定を確保する
<b>施策</b>	04 消費生活の安全・向上を図る		

<b>基本方針</b>	消費生活全般に関する相談体制の充実、正確な情報の提供などにより、消費者の自立を支援するとともに、消費者被害の未然防止を図ります。
-------------	--

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>市民の消費生活の安定及び向上に資するため、消費生活センターにおいて専門相談員による消費生活相談及び多重債務相談を実施するとともに、国からの「地方消費者行政推進交付金」をもとに県が交付する補助金を活用し、啓発チラシや啓発物資を作成し、消費者被害の未然防止に向けた啓発事業を実施した。</p> <p>啓発事業としては、町内会や老人会など各種団体を対象とした消費生活出前講座及び一般消費者を対象とした消費者学習会を実施した。また、加古川市消費者協会に委託し、地域に密着した啓発活動を行った。</p> <p>悪質商法は複雑、巧妙化している。今後も、引き続き消費生活センターによる相談窓口を充実するとともに、地域や関係機関等とのネットワークの連携を密にし、消費者の自立支援及び消費生活の安定と向上を図ることが必要である。</p>	

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>計量特定市として計量法に基づく業務を実施し、適正な商品取引の確保を図ることにより、消費者の安心・信頼に込えている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
消費生活出前講座受講者数	人	1,428 (平成19～21年度の累計)	4,730 (平成19～27年度の累計)	3,800 (平成19～27年度の累計)
消費生活相談件数	件	1,308 (平成21年度)	1,267 (平成27年度)	1,400
悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発に関して満足している市民の割合	%	21.3 (平成20年度)	38.6 (平成26年度)	29

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	01 安心して暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 市民生活の安全・安定を確保する
<b>施策</b>	05 勤労者福祉を充実する		

<b>基本 方針</b>	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を促進するなど、関係機関や事業者と連携し、勤労者福祉の充実を図ります。
------------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川公共職業安定所や加古川商工会議所、加古川経営者協会などの関係機関や事業者と連携し、就労セミナーやJOBフェアを開催するとともに、就労に関する情報提供を行うことで就業機会の提供を行った。また、労働相談の実施、勤労者住宅資金融資制度やあいわーくかこがわへの支援を通じて、勤労者の福利厚生の上昇が図られた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
あいわーくかこがわ加入事業所数	社	326 (平成22年度)	284 (平成27年度)	350
ワーク・ライフ・バランスという言葉についてよく知っている市民の割合	%	12.6 (平成21年度)	28.9 (平成26年度)	50
勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援に関して満足している市民の割合	%	19.6 (平成20年度)	35.5 (平成26年度)	25

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 学校教育を充実する
<b>施策</b>	01 特色ある就学前教育を推進する		

<b>基本方針</b>	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、保育園や幼稚園の連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達および学びの連続性を踏まえた就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
-------------	--

## 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>子ども・子育て支援新制度の開始にあわせ、量の確保対策として、公立幼稚園20園中2園について4才児クラスを増設を行うとともに、質の確保対策として、加古川市就学前教育カリキュラムの見直しを進めるなど、なお一層の就学前教育の充実を図ることができた。</p> <p>公立幼稚園の運営に関しては、電気料金の値上げ、施設設置備品等の老朽化など厳しい状況の中ではあるが、節電や節水等により費用を抑え、幼稚園の運営に支障をきたすことなく適正な運営管理を行うことができた。</p> <p>また、市内の私立幼稚園3園に対して、幼児教育振興のため、4・5歳児の園児数に基づいて助成を実施した。平成27年度は引き続き実施するが、平成28年度以降は、市内私立幼稚園の「子ども子育て支援新制度」への移行の動向を見守る必要がある。</p>	

## 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>ふれあい保育や子育て相談等の実施により、子育て中の保護者が交流する機会が増えた。討論の場では積極的に質問したり意見を述べたりする参加者の姿も見られ、子育てに関する情報や知識を得ることができた。また、地域ボランティアや高齢者との交流から、地域についても目を向け、つながりをもととする気持ちが芽生えてきた。今後は、保護者自身の教育力向上につながるよう更なる支援に努めていきたい。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	%	65.0 (平成21年度)	85 (平成26年度)	85
就学前教育や義務教育の内容に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	47.4 (平成26年度)	51

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 学校教育を充実する
<b>施策</b>	02 義務教育を充実する		

<b>基本方針</b>	変化の激しい時代をいきいきと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
-------------	---

### 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>小・中学校運営については、施設設置備品等の老朽化など厳しい財政状況の中であり、例年光熱水費が運営経費の多くを占めていたが、電気の調達先を変更することにより、光熱水費を抑えることができた。特に小学校では節電節水等の意識が高く使用量が抑えられているため、運営全体に支障をきたすことなく適正な運営管理ができた。中学校においては、設備の故障等により水道及び下水道の使用量が増えたため、使用料及び賃借料(下水道使用料)の増額補正を行った。また、小学校の教科書改訂に伴い教師用の教科書・指導書・準拠教材の購入を行い、義務教育の充実を図った。</p> <p>本市に居住する外国人学校に通う児童生徒等の教育環境の充実のため、適正な助成に努めた。なお、兵庫県では外国人学校に対する補助金の支給基準に「使用する教科書などの教育内容」を加え、現行で要件を満たさない朝鮮学校については、平成26年度以降、補助金が減額されており、今後、他市の状況もみながら、適正な助成に努めたい。</p>	

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>ことばの力総合推進事業では、各中・養護学校に「ことばの力」配達人を派遣し、子どもの思考力・判断力・表現力等の向上のきっかけづくりを推進するとともに、「伝えあうこと」を中心に研究開発を進めた加古川中学校の取組成果の全市民的な周知に努めることができた。また、これまでの取組の成果を踏まえ、「ことばの力」育成プログラムの改訂版を作成した。</p> <p>英語活動支援事業では、ALTを増員し、これまでの小学5・6年生と中学校への配置に加え、こども園・保育園や幼稚園、小学校1年生～4年生にもALTを派遣することで、就学前から中学校卒業までを通した各発達段階に応じた英語によるコミュニケーション能力育成の更なる向上を図ることができた。</p> <p>学校ウエルネス促進事業では、小学校5年生に「かこがわウエルネス手帳」を配布し、効果的に活用する中で、児童生徒の健康や体力に関する意識の向上につながっている。今後、継続して手帳を活用することにより、更なる成果が期待される。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
学習指導の充実を達成している小中学校の割合	%	60.0 (平成21年度)	80.4 (平成25年度)	80
就学前教育や義務教育の内容に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	53.3 (平成26年度)	51

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 学校教育を充実する
<b>施策</b>	03 特別支援教育を充実する		

<b>基本方針</b>	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことをめざした特別支援教育の充実を図ります。
-------------	--

## 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>特別支援学校の運営については、光熱水費の支払い、教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理、警備業務等、適正な運営管理を行うことができた。なお、電力の調達先を変更し、節電と併せて光熱水費の削減を図ることができた。また、小学校の教科書改訂に伴い、教師用の教科書・指導書の購入を行い、義務教育の充実を図った。</p>	

## 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>特別な支援や配慮を必要とする幼児・児童・生徒が、増えてきている現状の中、学校園で特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的かつ継続的な支援体制、および加古川養護学校での幼小中高の一貫教育をさらに推進することができた。</p> <p>また、教職員の資質向上をめざして、専門性を高めるための研修の機会を積極的に設けた。平成28年4月に施行される「障害者差別解消法」で、学校が「合理的配慮」の提供が義務となることを受けての学校園管理職や特別支援教育コーディネーターへの研修、スクールアシスタントや補助指導員へのスキルアップをねらいとした悉皆研修など、多くの機会を持つことができた。インクルーシブ教育システムの構築のため、さらに教職員の意識を高め、すべての子どもたちの相互理解の促進や豊かな人間性の育成をめざして、交流学习や共同学習を推進していく必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	%	52.6 (平成21年度)	66.5 (平成27年度)	80
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	%	36.7 (平成20年度)	49.2 (平成26年度)	40

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 学校教育を充実する
<b>施策</b>	04 教育を支える環境を整備する		

<b>基本方針</b>	学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。
-------------	--

## こども部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
平成24年度以降、全園で実施している市立幼稚園の4歳児学級(各園1クラス 定員35人)について、市南東部の園では定員を超える申込みがあることから、利用希望に応えるため、平成26年度に2園で1クラスずつ増設し、2クラス 70人の定員増を図ったのに加え、平成27年度はさらに1園において1クラス増設、35人の定員増を行った。今後も、4歳児学級の利用希望の推移を見極めながら増設を検討していく。	

## 教育総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「A 期待どおり」
<p>学校園施設の耐震化については、子どもたちの生命・身体の安全を確保するため、早期に対処することが求められていたが、平成26年度末に躯体の耐震補強工事が完了。平成27年度には吊り天井等の落下防止対策を実施し、全ての耐震化工事が完了した。</p> <p>学校施設の老朽化対策については、優先的に改修を進めるべき棟を選定し、教育環境整備事業において中長期的に取り組む。平成27年度は必要な設計委託を予定通り実施することができた。平成28年度からは15年計画で内装改修、トイレ改修、機械や電気の設備老朽改修工事を実施する。</p> <p>維持補修事業については、既存施設の維持補修を行い、学校園の安定運営確保に努める。また、高木剪定については、近隣への落葉被害を防止するとともに、枯れ枝等の落下及び倒木からの児童・生徒の安全確保に努める。</p> <p>中学校給食の実施に向けて、専門業者による調査を実施し、調査結果を元に基本方針、基本計画を作成した。</p>	

## 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>中学校区連携ユニット12推進事業については、校種間の連携においてもモデルユニットの指定などにより、効果をあげている。また、全ユニットに地域コーディネーターが配置されたことにより、充実した取組につながっている。今後は、各ユニットの特色に応じてモデルユニットを指定するなど、地域総がかりで課題解決を図る取組を、さらに推進する必要がある。</p> <p>いのちと心サポート事業では、いじめ問題や防災教育、心の健康教育等の喫緊の教育課題を、ユニット単位で研究を進め、その成果を加古川教育フォーラムで発表するなどし、各ユニットに広げている。心の絆プロジェクト事業では、各学校における生徒会・児童会の活動が充実してきており、その取組をまとめた実践事例集を作成し、各校に配布することで、さらに充実した活動につながるが考えられる。また、学校単位の取組だけでなく、小・中学校が連携した取組も増えつつあり、今後、つながりのある活動になることが期待される。</p> <p>いじめや不登校問題等の未然防止、早期発見・早期対応を目的とした「学校生活に関するアンケート」及び「いじめ相談シート調査」を実施し、児童生徒の学校生活への適応感を分析し、活用することで、学校経営あるいは学級経営に活かそうとする学校が増えた。また、ユニット12においても不登校対策を推進して、小・中連携を活かした取組が行われた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
学校園施設の耐震化率	%	70.56 (平成22年度)	100 (平成27年度)	100
不登校児童・生徒の割合(小学校/中学校)	%	0.15/2.50 (平成21年度)	0.39/2.27 (平成27年度)	0.14/1.97
開かれた学校園づくりを達成している幼稚園および小中学校の割合	%	61.5 (平成21年度)	100 (平成25年度)	85

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 地域における教育・学習環境を整備する
<b>施策</b>	01 生涯学習を推進する		

<b>基本 方針</b>	市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、市民が習得した知識や技能を社会や地域に生かせる環境を整えるなど、生涯学習を推進します。
------------------	--

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>東加古川公民館の建替えについては、平成27年7月の「東市民病院跡地活用方針」において、加古川東市民病院跡地への移転の方針が示された。その後、パブリックコメントを経て平成28年3月には「加古川東市民病院跡地活用計画」を策定した。今後は、市民の利便性を考慮しつつ、利用ニーズの高度化・多機能化に伴う利用状況や圏域人口等を鑑み、整備計画の策定に向けて事業を進めていく。</p> <p>また、両荘公民館水洗化及び合併処理施設撤去工事については、平成28年度に実施設計を行う予定である。</p> <p>公共図書館の電子資料の利用については、平成28年7月からの「加古川市電子図書館」サービス開始に向け、平成27年11月に電子資料にも対応できるよう図書館システムの更新を行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市民一人あたりの図書貸出冊数	冊	6.6 (平成21年度)	6.3 (平成27年度)	7.5
市民一人あたりの公民館利用回数	回	4.0 (平成21年度)	4.1 (平成27年度)	5.5
生涯学習機会や学習環境に関して満足している市民の割合	%	54.8 (平成20年度)	52.7 (平成26年度)	58

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 地域における教育・学習環境を整備する
<b>施策</b>	02 地域総がかりで青少年の健全な育成を図る		

<b>基本 方針</b>	家庭や地域における教育力の向上を支援するとともに、家庭、地域、学校園などが連携・協力し、青少年の学びや育ちを支え、心身の健全な成長を促します。
------------------	---

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>・「児童クラブ教室整備事業」については、尾上及び川西小学校区において学校敷地内プレハブを整備し、加古川小学校区において学校外建物の改修を行ったほか、氷丘南小学校区では民間事業者が設置する児童クラブの整備により、平成28年4月からの高学年までを受け入れる整備を進めた。また、平岡、平岡北小学校においては、学校内教室を改修し、基準を満たす施設を拡充した。</p> <p>・「放課後子ども教室事業」については、平成26年度の3公民館から拡大し、9公民館で実施した。残る3地域については、平成28年度から事業を実施していけるよう、調整を行った。</p> <p>・「将棋まつり事業」については、平成27年度より、「将棋フェスタ」として（公財）ウェルネス協会で実施することに一本化した。</p> <p>・平成28年度において、宿泊棟の一室を車椅子のまま利用できるよう改造整備すること及び大型天体望遠鏡のレンズ・鏡の劣化に対する補修を行うことが決定した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
地域(小学校区・町内会)での多世代交流イベントの実施割合	%	79.7(平成17～21年度の平均)	83.9(平成23～27年度の平均)	85(平成23～27年度の平均)
青少年の健全な育成に関して満足している市民の割合	%	17.0 (平成20年度)	42.8 (平成26年度)	24

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 スポーツや文化・芸術を振興する
<b>施策</b>	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		

<b>基本方針</b>	市民のだれもが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
-------------	---

## 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
ウェルネス施設の管理運営を適切に行い、市民がスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができる環境づくりを行った。また、マラソン大会等を実施し、市民が参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進した。	

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・いずみプラザの利用人数は、研修室:1,389人、キッズ・ルーム:2,950人、グラウンドゴルフ場:2,548人(利用回数では延べ4,357人)で合計6,887人(8,696人)であった。合計利用人数は2,069人の増で、前年比 約43%増であった。</p> <p>・実行プランの取組みについては、次のとおりであった。</p> <p>① グラウンド・ゴルフ場に私設メータを取付け散水量を把握することで、下水道使用料を年間で19,891円(税込み)減額した。</p> <p>② 隣接のクリーンセンターと連携し事務を進めることにより、職員の勤務シフトの調整や、窓口で受領した使用料の納入事務を円滑に行うことができた。また、PRの結果、利用者数が約43%増えた。</p> <p>③ グラウンド・ゴルフ場について、稲美町など他市町の施設と、適宜、情報交換を行い運営方法の確立に努めた。</p>	

## 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
キャンプ場の利用状況は、近年のアウトドア人気の影響もあり、年々利用者は増加しており、使用料による収入も増加している。ゴールデンウィーク、シルバーウィークにおいてはフル稼働しているが、それ以外についても、利用率向上に向け、PR等を進める。	

## 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・加古川市民スポーツカーニバルは、体育協会の種目協会が実施するスポーツ体験や元オリンピック選手が主催するイベントなども実施し、今年度は6,000人の参加があり、スポーツに親しみをもち、スポーツを始めるきっかけづくりの提供に寄与している。</p> <p>・自動車専用道路の整備、岩肌路面の改修ともにプランが進行していない。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	%	38.1 (平成19年度)	42.1 (平成23年度)	50以上
スポーツ・レクリエーションの活動機会提供に関して満足している市民の割合	%	54.6 (平成20年度)	51.6 (平成26年度)	58

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 スポーツや文化・芸術を振興する
<b>施策</b>	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		

<b>基本方針</b>	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、異文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
-------------	---

### 秘書室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・国際交流センターは竣工から25年が経過し、老朽化が進んでいるが、清掃等の日常業務に加えて、定期点検により修繕が必要な箇所を早期発見、改修することで、利用者の利便性の確保と中長期的な維持管理コストの低減を図った。</p> <p>・国際交流事業を国際交流協会に委託し、実施することで、多文化が共生する心豊かな社会の実現に資することができた。</p> <p>・国際交流センターの利用や国際交流事業の普及啓発を図るため、国際交流協会とホームページのあり方について協議し、リニューアルを実施した。</p>	

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>文化施設の管理運営を適切に行うことにより、市民の文化・芸術活動の取組みを支援した。また、文化まつり、美術展、加古川清流戦等を実施し、市民が文化・芸術活動へ参加したり、身近に触れたりする機会を提供した。</p>	

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>埋蔵文化財の調査や考古資料の整理については、今年度は大幅に進捗するとともに文化財講座の開催、文化財ニュースの発行、小学生の古墳見学会などにより、情報発信の成果があったものと思われ、全体的には概ね期待通りの成果は達成できたものとする。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
指定文化財数	件	110 (平成21年度)	119 (平成27年度)	125
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	人	319,965 (平成21年度)	347,437 (平成27年度)	340,000
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	%	48.3 (平成20年度)	47.4 (平成26年度)	52

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
<b>施策</b>	01 人権文化を確立する		

<b>基本方針</b>	市民一人一人が人権意識を高め、日常生活の中でお互いの人権を尊重し、ともに生きる社会の実現をめざします。
-------------	---

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>・新規事業として、新たな人権施策の拠点として設置した「加古川市人権文化センター」において、地域の人権リーダーの養成を目指す人権学習講座等を開設するとともに、人権アドバイザー制度を創設し、地域主体の研修会等への講師の派遣や公民館での人権相談を実施した。</p> <p>・また、人権教育講演会や人権啓発セミナー等の啓発事業も引き続き開催するなど、人権教育・啓発活動の充実に努めたところである。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
人権教育講演会および人権啓発セミナーの参加者数	人	3,749 (平成17～21年度の平均)	3,528 (平成23～26年度の平均)	3,800 (平成23～27年度の平均)
人権教育や人権啓発の推進に関して満足している市民の割合	%	57.3 (平成20年度)	54.2 (平成26年度)	61

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
<b>施策</b>	02 男女共同参画社会の形成を推進する		

<b>基本方針</b>	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現をめざします。
-------------	--

### 企画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>・「第4次男女共同参画行動」(計画期間:平成28年～32年度)計画を策定し、計画書のほかに概要版を作成し、周知啓発に努めている。</p> <p>・審議会等への女性の参画率は、関係課への働きかけや積極的な啓発の結果、最終的に33.3%となった。</p> <p>・地方創生事業の一環として、男性の家庭参画促進や女性の新たな就労機会の創出に向けたセミナーを開催するとともに、SNSの活用やターゲットを絞った効果的な広報に努め、休日開催のセミナーを増やした結果、セミナー・講座への参加者は増加した。</p> <p>・特に「まちづくり講座」においては、地域活動の契機として、より実践的な内容に絞りこんだ結果、女性人材バンクへの登録につながった。また、起業セミナーでは受講者による自主活動グループの結成にもつながるなど、事業効果を高めることができた。</p>	

### こども部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>加古川市配偶者暴力相談支援センターにおいて、離婚、夫婦関係、配偶者からの暴力等の相談に応じるとともに、女性の自立に向けた支援を行うことができています。また、平成28年3月に「加古川市配偶者等からの暴力対策基本計画」を改定し、配偶者暴力の防止に関する総合的な施策の方向性を見直しを行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
審議会等への女性の参画率	%	29.4 (平成22年度)	33.3 (平成27年度)	50
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合	%	45.3 (平成20年度)	48.8 (平成26年度)	49

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 地球環境と地域の環境を保全する
<b>施策</b>	01 環境保全を実践する		

<b>基本方針</b>	環境保全対策を計画的に進めるとともに、市民一人一人の環境に対する意識の向上と自発的な活動を促進し、身近な生活環境の保全と低炭素社会の実現をめざします。
-------------	---

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育を推進するため、省エネルギーなどをテーマにした環境教育出前講座を開催した。</li> <li>・公害防止協定・法規制対象の工場や事業場に対し立ち入り調査を行い、留意すべき点等について必要な指導を行った。</li> <li>・大気汚染物質、自動車騒音、公共水域、振動・騒音等について常時監視・調査を実施した。</li> <li>・合併処理浄化槽設置に伴う生活排水の水質向上について、現況を確認するため、小河川等30地点において、生活排水影響調査を実施した。</li> <li>・環境マネジメントシステムや率先実行計画については、事業等の見直しにより、温室効果ガスの削減に努めた。</li> </ul>	

## 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>道路照明灯1,019灯基は平成26年度に、市管理防犯灯7,790灯については平成27年度にLED照明器具に変更し、リース契約による維持管理を実施中であり、今後は町内会管理防犯灯のLED照明への変更を誘導していく。</p> <p>また、公園内の照明灯約600灯については、LED化に向けての現況調査を実施し、平成29年度にリース契約によるLED化を進めることとした。</p> <p>これにより、低炭素社会実現に貢献できるようにしていく。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
温室効果ガス排出量の削減率(1990年比)	%	+24.0 (平成17年度)	35.1 (平成24年度)	-9
かんきょう出前講座の参加者数	人	848 (平成17～21年度の平均)	1,218 (平成23～27年度の平均)	1,000 (平成23～27年度の平均)
大気や水質・騒音等の環境対策に関して満足している市民の割合	%	29.8 (平成20年度)	37.1 (平成26年度)	37

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 地球環境と地域の環境を保全する
<b>施策</b>	02 地域の自然環境を守る		

<b>基本方針</b>	豊かな自然環境を保全し、多様な生命をはぐむ環境づくりに取り組むなど、人と自然とが共生する社会の実現をめざします。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
各地域における農地の保全を図るとともに有害鳥獣捕獲業務を実施し、農作物被害の軽減や動植物の生態系の保全を図った。特定外来生物の捕獲頭数は増加傾向にあり、今後も継続して行う必要がある。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市が主催または共催する自然観察会の参加者数	人	185(平成17～21年度の平均)	111(平成23～27年度の平均)	250(平成23～27年度の平均)
自然環境の保全に関して満足している市民の割合	%	41.9 (平成20年度)	45.9 (平成26年度)	49

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 資源の循環と環境美化を推進する
<b>施策</b>	01 ごみを減らし、リサイクルを進める		

<b>基本方針</b>	ごみの発生抑制、再使用、再資源化、適正処理を積極的に進め、循環型社会の実現をめざします。
-------------	--

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け出前講座、また広報紙やHP、回覧文などの媒体を積極的に活用し、ごみ分別、減量、3R推進の周知を図った。</li> <li>・レジ袋削減のため、H27年11月に市と市内の11事業者、市消費者協会との三者でレジ袋の無料配布中止の協定を締結し、H28年4月から協定事業者においては、レジ袋の無料配布を中止した。</li> <li>・H28年10月からのごみ処理手数料の改定に向けて、事務を進めた。</li> <li>・資源化推進のため、地域の資源物集団回収に対し奨励金を支給した。</li> <li>・開発行為の協議において、ごみステーションが適正に配置されるよう誘導した。</li> <li>・粗大ごみ戸別収集について、H29年10月実施に向けて具体的な検討を行った。</li> <li>・広域処理施設について、2市2町による協議を各レベルで行い、H34年の本格稼働に向け準備を進めた。</li> <li>・焼却施設においては、計画的な改修工事と運営管理業務のモニタリングにより、適切な維持管理ができた。</li> <li>・業務委託により、最終処分場の浸出水の適正処理と良好な維持管理ができた。</li> <li>・剪定枝の資源化について、検討を行い、事務を進めた結果、H28年4月から資源化を開始することとなった。</li> <li>・リサイクルセンターについては施設が老朽化しているが、処理施設の躯体部分を中長期計画で修繕に取り組み、ごみの処理が滞らないように安定した運転ができた。</li> <li>・ごみ最終処分場の延命化を目標としている為、適正な管理ができた。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市民一人あたりのごみ排出量	g/日	940 (平成21年度)	925 (平成27年度)	914
資源化率	%	12.79 (平成21年度)	16.52 (平成27年度)	25
ごみの減量・不用品のリサイクルの推進に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	52.9 (平成26年度)	51

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 資源の循環と環境美化を推進する
<b>施策</b>	02 清潔で美しい環境をつくる		

<b>基本方針</b>	市民の環境美化に対する意識の向上や自主的な活動を促進し、清潔で快適な生活環境の創出をめざします。また、し尿の適正な処理を推進し、環境への負荷軽減を図ります。
-------------	--

### 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄パトロールを実施し、237件の事案について対応した。</li> <li>・し尿収集体制について、し尿登録件数を把握し、班体制の見直しを行った。</li> <li>・し尿処理施設の設備について、し尿・浄化槽汚泥の投入槽・貯留槽の修繕等について次年度の予算措置を行った。</li> <li>・下水道長期整備区域の見直しに伴い拡大した「合併処理浄化槽で処理する区域」における生活環境の早期改善と公共水域の水質保全を図るため、新たな合併処理浄化槽補助制度の運用により、合併処理浄化槽設置補助288件及び維持管理費補助258件を行った。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
アダプトプログラム登録団体数	団体	38 (平成21年度)	38 (平成27年度)	50
生活排水処理率	%	92.0 (平成21年度)	94.6 (平成27年度)	95
ポイ捨てやペットのふん害防止に関して満足している市民の割合	%	12.7 (平成20年度)	22.9 (平成26年度)	20

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 農業・水産業を振興する
<b>施策</b>	01 農業を振興する		

<b>基本方針</b>	農業生産基盤の整備・保全や生産者の育成、地産地消の促進に努めるなど、農業の持続的な発展をめざします。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>国庫補助事業等を活用しながら、ほ場や老朽ため池、用水路等の整備・改修を計画的に行い、基盤整備・保全に努めた。また、集落営農組織の認定農業者数は増加しており、各種補助事業の制度紹介などを通じて営農組織の発展に努めた。</p> <p>安全安心な農産物の供給については、化学肥料の使用低減のため、緑肥や堆肥による農産物生産に対する支援を行った。また、軽トラ市やマルシェなどイベントを通じて農産物のPRなどを実施した。さらなる活性化のため、都市住民が農業や自然環境にふれあう機会の提供を積極的にPRしていく。</p>	

### 農業委員会事務局

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「A 期待どおり」
<p>総会、農地部会、農政部会の開催及び研修会、意見交換会を実施した。また、農地の転用等の許可申請、届出等の法令事務や証明発行等を行い、さらに証明手数料の徴収に向け事務を進めた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
集落営農組織を組織している地区数	地区	40 (平成21年度)	40 (平成27年度)	46
認定農業者数	人	20 (平成21年度)	33 (平成27年度)	32
見土呂フルーツパーク利用者数	人	120,193 (平成21年度)	128,215 (平成27年度)	123,000

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 農業・水産業を振興する
<b>施策</b>	02 水産業を振興する		

<b>基本 方針</b>	水産業の生産基盤の整備・保全を図るとともに、栽培漁業を促進し、経営の安定化に努めるなど、水産業の持続的な発展をめざします。
------------------	---

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
全国的な漁獲高の減少傾向により、漁業者の減少は避け難いものとなっているなか、漁業の経営安定のための補助等を行うことで漁業者数が維持できている。また、水質向上や水産資源の増加に向けての取組みを行い、効果が期待される。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
水産業生産額	万円	20,020 (平成21年度)	16,596 (平成27年度)	22,000
ノリ生産量	千枚	19,590 (平成21年度)	15,328 (平成27年度)	21,550

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 工業・地場産業を振興する
<b>施策</b>	01 工業を振興する		

<b>基本方針</b>	生産性や技術力の向上など、工業の活性化に向けた取り組みを支援するとともに、既存資源等を有効に活用した新たな事業分野への展開や新規創業を促進し、工業の持続的な発展をめざします。
-------------	---

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>兵庫県東播磨県民局や商工会議所などとの連携を強化し、経営相談や指導への対応、融資制度の充実に加えて各種セミナーを共催した。また、新たな産業用地の創出に向けて、加古川工業団地に隣接する用地の基礎調査を行った。</p> <p>新規創業・新分野への展開を促進するため、その足がかりとなる企業訪問・相談をきめ細かく行うとともに、ビジネスマッチングフェアや展示会出展支援等を通じて事業者への支援を行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
セミナー参加企業数	社	98(平成19～21年度の累計)	722(平成19～27年度の累計)	290(平成19～27年度の累計)
ものづくり支援センター相談件数	件	87(平成19～21年度の累計)	656(平成19～27年度の累計)	260(平成19～27年度の累計)
工業や地場産業の振興に関して満足している市民の割合	%	42.1 (平成20年度)	50.1 (平成26年度)	48

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 工業・地場産業を振興する
<b>施策</b>	02 地場産業を振興する		

<b>基本方針</b>	技術の継承と新たな製品の開発や販路の開拓、情報の発信など経営の活性化に向けた取り組みを促進し、伝統的な地場産業の新たな発展をめざします。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>地場産業の経営基盤強化のため、かこっとん(加古川産綿花を活用した取組み)に対してふるさと名物応援宣言行い、地域ブランドとして新商品開発や販路拡大の取組みの支援や国補助金採択のサポートを行い、靴下の高付加価値化を促進した。</p> <p>また、関係者による安部晋三総理表敬訪問の実現や、産業観光ワークショップ「かこっとん×観光」開催協力、国包建具の異業種交流支援など地場産業の活性化を図った。さらにふるさと納税制度を活用し、地場産業の商品群のPRを行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
国内の靴下生産量に占める割合	%	10.5 (平成21年度)	11.8 (平成27年度)	11
国包建具の事業所数	事業所	15 (平成21年度)	13 (平成27年度)	15
工業や地場産業の振興に関して満足している市民の割合	%	42.1 (平成20年度)	42.1 (平成26年度)	48

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 商業・観光を振興する
<b>施策</b>	01 商業・サービス業を振興する		

<b>基本方針</b>	にぎわいのある商業圏を形成するため、中心市街地の商業活性化をはじめ、市内の小売業の振興を図ります。また、物流・流通機能の活性化を促進します。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>空き店舗を活用した新規出店及び地元事業者が実施するイベント等を支援することより、中心市街地における商業集積と賑わい創出を図るとともに駅前通商店街が実施するアーケード改修工事を支援し、来街環境の維持向上を促進した。</p> <p>また、地域経済活性化・消費喚起を目的とした国の交付金を活用し、商業連盟が実施するプレミアム付商品券発行事業を支援し、市内小売業の振興が図られた。</p> <p>物流・流通機能の充実については、市場まつりの開催などを通じて公設卸売市場の活性化を図るとともに、市場の整備方針策定に必要な調査を実施した。食肉センターについては、経営健全化を図ることにより、食肉の安全・安定供給を努めた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
中心市街地における空き店舗数	店	32 (平成21年度)	30 (平成27年度)	26
商業や観光の振興に関して満足している市民の割合	%	36.1 (平成20年度)	41.1 (平成26年度)	42

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	04 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	03 商業・観光を振興する
<b>施策</b>	02 観光を振興する		

<b>基本方針</b>	観光資源の有効活用と広域的な観光ネットワークの形成により、交流人口の拡大に努めるとともに、市民のふるさと意識の醸成など多角的な視点から観光の振興をめざします。
-------------	---

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>ツデーマーチ等の開催やウォーキングセンターを適切に運営し、自然や歴史などの観光資源に触れる機会を提供した。</p> <p>また、観光情報を発信する役割を担う加古川観光協会と連携しながら、様々な事業を実施した。</p> <p>さらに、国の交付金を活用して「加古川市観光まちづくり戦略」を策定した。策定の過程においては、観光実態調査報告会兼まちづくりオープンミーティング、市民や観光関係事業者等によるワークショップの開催を通じて関係者の合意形成を図ることができた。広域的な観光振興に向けて、姫路市を中心とする播磨圏域連携中枢都市圏において広域的な観光ネットワークを形成し、圏域内の観光資源をPRするための事業を実施した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
観光入込客数	千人	2,217 (平成21年度)	2,188 (平成26年度)	2,559
市民ギャラリーまち案内件数	人	37,728 (平成17～21年度の累計)	81,478 (平成17～27年度の累計)	83,000 (平成17～27年度の累計)
商業や観光の振興に関して満足している市民の割合	%	36.1 (平成20年度)	35.6 (平成26年度)	42

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	01 計画的な土地利用を進める		

<b>基本方針</b>	適切な都市機能の確保を図るため、地域特性に応じた適正で計画的な土地利用を進めます。
-------------	---

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用や都市機能の適切な誘導を図るため、庁内の検討会を開催し、都市計画マスタープラン(素案)を策定することができた。</li> <li>・都市計画基礎調査を計画的に実施し、土地利用の動向を的確に把握することができた。</li> <li>・線引き見直しや高度地区の見直しの都市計画手続きを計画的に進め都市計画変更をすることができた。</li> <li>・磐東地区まちづくり協議会の地区まちづくり計画の策定を支援し、特別指定区域を指定することができた。</li> <li>・開発許可等の事務において、審査期間短縮のため、関係課への協議書の迅速配布、回答書のとりまとめの簡素化、進捗状況管理表による進捗管理を実施した。</li> </ul> <p>また、社会経済状況の変化に即時に対応すべく、審査基準の改正を行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
田園まちづくり制度による特別指定区域指定地区数	地区	7 (平成21年度)	35 (平成27年度)	26
工場や高層建築物の秩序だった配置に関して満足している市民の割合	%	43.6 (平成20年度)	36.2 (平成26年度)	49

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	02 秩序あるまちなみを形成する		

<b>基本方針</b>	多様な手法により住民主体のまちづくりを進め、地域特性を生かした秩序ある都市環境とまちなみの形成をめざします。
-------------	--

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都台地区において、地区計画の策定を支援し、地元案を策定することができた。</li> <li>・加古川市景観まちづくり条例に基づき、大規模建築物等の届出事務等を遂行するとともに、兵庫県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可事務等を遂行し、良好な街なみ景観の形成を図った。また、第4回景観まちづくり表彰を実施し、市民に対し景観まちづくりの啓発を図った。</li> <li>・市内6カ所の美しい街づくり花壇の維持管理と、公共空地6カ所において市民ボランティアによる緑化活動支援を行い、協働による美しい街づくりを推進した。</li> <li>・志方地区については、地域特性に応じた柔軟な土地区画整理事業の施行を支援するため、関係機関と精力的に協議を行った。組合設立に向け、今後も引き続き協議を行っていく。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
秩序あるまちづくりに関連するルールを策定した地区数	地区	16 (平成21年度)	18 (平成27年度)	19
違反広告物の簡易除去件数(1回あたりの平均)	件	35 (平成21年度)	17 (平成27年度)	10
景観やまちなみの美しさに関して満足している市民の割合	%	43.2 (平成20年度)	41.4 (平成26年度)	51

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	03 都市拠点の機能を充実する		

<b>基本方針</b>	加古川駅周辺地区および東加古川駅周辺地区、別府駅周辺地区については、本市の都心および副都心にふさわしい地区として、商業、教育、文化、住居など多様な都市機能の誘導・集積を図ります。また、地域拠点については、各地域の特性を踏まえながら、ふさわしい機能の確保に向けた取り組みを進めます。
-------------	--

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>企画部の主導の下、加古川市民センターは近隣の商業施設内に移転の方向で協議が進んでいる。正式な移転時期は不明であるが、概ね平成28年秋ごろの予定。</p>	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>JR加古川駅東側の駐輪過剰状態解消に向け、新無料駐輪場の設置および現溝之口駐輪場有料化実施について平成28年度に実現することとなった。</p> <p>また、放置自転車対策事業がPR等で市民に浸透してきており、放置自転車台数が減少となり目標値2,000台を下回った。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺家町周辺地区防災街区整備事業は、建築躯体工事が完了し、仕上げ、設備工事については当初の予定通り約40%が完了した。</li> <li>・厄神駅周辺道路整備事業については、国包37号線道路整備工事(第1工区)を先行実施した。</li> <li>・宝殿駅附近都市整備事業については、高砂市と協議を行った。</li> <li>・加古川駅北土地区画整理事業については、都市計画道路溝之口線(幅員20m、延長170m)の供用開始により、事業における道路整備率が約97%になった。</li> <li>・加古川駅前土地区画整理事業については、平成27年6月26日に換地処分公告を行い事業が完了した。平成32年度まで清算金徴収事務(分割納入者)を行っていく。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	%	50.6 (平成20年度)	38.1 (平成26年度)	54

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	04 交通・港湾機能を充実する		

<b>基本方針</b>	国、県など関係機関と連携しつつ、市域内から広域へつながる円滑な交通の実現を図るとともに、経済面での需要創出や生産力の増強など道路整備の波及効果が最大限発揮されるよう、効果的な幹線道路ネットワークの形成をめざします。また、東播磨港においては、海上物流機能を支える基盤の強化を促進します。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
港湾機能充実の一環として設置された海洋文化センターを適切に管理運営し、海洋文化に触れる機会と地域の交流促進が図られた。	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>●幹線道路の整備 都市計画道路尾上小野線、加古川別府港線、中津水足線等の用地取得を進め、都心部の渋滞緩和に寄与する幹線道路整備に向けて着実な事業進捗を図った。</p> <p>●港湾交流機能の充実 ・東播磨港振興協会を通じて、県に対して耐震護岸の整備や防波堤の強化の整備促進を要望した。また、東播磨港の利用促進のためにパンフレットを作成し、関係機関や会員へ配布した。 ・クリーンキャンペーン(リフレッシュ瀬戸内)を実施し、約220名の市民に参加いただいた。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
地域の将来像や交通環境の変化及び将来における交通需要等を総合的に勘案した幹線道路ネットワークの形成のため、長期に渡って未整備となっている都市計画道路の見直し作業を兵庫県作成『都市計画道路見直しガイドライン』に基づき実施し、4路線(加古川駅南線、間形坂元線、南備後稲屋線、樋之口線)の廃止もしくは一部廃止を実施した。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市北部地域から市役所周辺までの所要時間(県立加古川医療センター～市役所周辺)	分	22 (平成19年度)	12 (平成26年度)	16
幹線道路の整備に関して満足している市民の割合	%	44.4 (平成20年度)	47.1 (平成26年度)	52

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	05 公共交通機能を充実する		

<b>基本方針</b>	高齢社会の到来や環境問題などの社会情勢の変化を踏まえながら、地域にふさわしい交通機能の充実を図り、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立をめざします。
-------------	---

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>神姫バス西牧線廃止に伴う代替交通として、かこタクシーを志方中心部まで延伸するルートの見直しを行い、利便性を向上させた。その結果、平日3便、土曜4便の減便を行ったにも関わらず、利用者が増加傾向にあり、効果的な取り組みであったと評価している。</p> <p>また、平成27年10月より、かこバス・かこタクシー停留所においてネーミングライツ制度を開始した。年間103万8千円(かこバス8停留所、かこタクシー7停留所)の収入を確保し、安定した運営に貢献できたものと評価している。</p> <p>地域公共交通プランについては、平成27年度、協議会を5回開催し、関係者が活発な議論を交わし、プランの基本方針を取りまとめた。今後の本市の公共交通施策を推進していくうえで、重要な方針をまとめることができたと評価している。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
コミュニティ交通の利用者数	人	597,487 (平成21年度)	664,334 (平成27年度)	610,000
鉄道の利便さに関して満足している市民の割合	%	63.6 (平成20年度)	61.3 (平成26年度)	67
バスの利便さに関して満足している市民の割合	%	33.7 (平成20年度)	33.7 (平成26年度)	41

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	01 防災・防犯のための基盤を整備する		

<b>基本方針</b>	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。
-------------	--

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>防犯灯及び交通安全施設の設置については、各地域からの要望等について対応することができた。河川及び排水路の整備・維持管理については、適切に実施しており、総合治水対策についても、各部局が定めた目標を着実に実施されている。</p> <p>また、法華山谷川流域減災対策事業については、輪中堤整備工事は6月末には完了しており、計画的な事業推進が図られている。</p> <p>通学路の安全確保のため、加古川市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を実施し、現状の把握を行ったうえで、緊急に対処が必要な箇所については路肩カラー化等の対応ができた。</p> <p>しかし、設置基準に該当しない通学路についても地元等からの要望が寄せられると考え、今後も条件の緩和等の検討を継続する必要がある。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地耐震化推進事業については、大規模盛土造成地(29カ所)のうち、崩壊時に住民や住宅の被害が大きいと思われる箇所について、地下水位・盛土状況を現地調査した。その結果、対策が急がれる場所を絞り込むことが出来た。</li> <li>・簡易耐震診断推進事業及び住宅耐震改修促進助成事業については、住宅耐震化に関するリーフレットを全戸回覧し、耐震化の必要性を訴える出前講座を実施するなどし啓発に努め、耐震化を推進した。</li> <li>・大規模建築物耐震診断等助成事業については、対象施設の所有者に対して、耐震診断の実施を促すとともに、改修工事等について協議を進めた。</li> <li>・空き家等対策支援については、老朽危険空き家等対策事業の28年度実施に向け、準備を行った。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
民間住宅の耐震化率	%	70.0 (平成18年度)	81.1 (平成27年度)	90
防犯灯設置件数	件	17,558(昭和39年度～平成21年度の累計)	18,315(昭和39年度～平成27年度の累計)	18,000(昭和39年度～平成27年度の累計)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	%	45.8 (平成20年度)	41.7 (平成26年度)	53

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	02 生活に身近な道路を整備する		

<b>基本方針</b>	地域内道路の計画的・効果的な新設や改良、適切な維持管理に努め、安全で快適な地域交通の確保をめざします。
-------------	---

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>主要駅前広場等を利用者の通行の安全と市の玄関口として快適な空間に保つことができた。</p> <p>市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備、道路改良、踏切拡幅などを計画的・効果的に実施することにより、危険個所の改善が図られた。しかし、地元町内会からの拡幅要望は多数あり、更なる安全性の向上が必要と考える。</p> <p>道路補修については路面性状調査の結果に基づく舗装補修計画に基づき、また、橋梁補修については点検結果に基づいた長寿命化修繕計画の策定により、適切に維持管理を行った。</p> <p>しかし、道路の損傷路線の増加および橋梁の老朽化が進むことは確実であるため、今後も計画的な予防修繕を継続する必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
緊急対策が必要な踏切のうち歩道設置などの構造改良を実施した箇所数	箇所	5(平成20～22年度の累計)	7(平成20～26年度の累計)	10(平成20～27年度の累計)
地域内の道路の安全性や便利さに関して満足している市民の割合	%	32.3 (平成20年度)	36.3 (平成26年度)	40

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	03 良質な住宅供給を促進する		

<b>基本 方針</b>	安全・安心な居住環境の形成と住宅セーフティネットの構築を進めるため、既存の住宅ストックの活用を図るとともに、多様なニーズに対応した良質な住宅の供給などを促進します。
------------------	--

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>市営住宅について、加古川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な維持補修を行い、平成27年度の目標を達成した。東神吉住宅51戸及び投松第2住宅8戸について、下水道接続工事を完了した。神野南山住宅8棟、230戸について、耐震診断を実施し、診断の結果、建物の耐震安全性を確認した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
長期優良住宅認定件数	件	320 (平成21年度)	3,235(平成21～27 年度の累計)	2,800 (平成21～27年 度の累計)
住宅相談利用件数	件	90(平成17～21 年度の累計)	106(平成17～27 年度の累計)	200(平成17～ 27年度の累計)

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	04 水と緑の空間を形成する		

<b>基本方針</b>	良好な水辺空間の創出と質の高い公園・緑地などの整備による水と緑の空間の形成をめざします。また、将来の需要や市民ニーズに対応した公園墓地などの整備・運営に努めます。
-------------	---

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>・斎場管理運営事業では、平成25年度で1回目の指定管理期間が終了し、平成26年度から平成30年度までの指定管理期間についても引き続き同じ業者を指定しており、適切な管理運営が実施されている。</p> <p>・斎場維持補修事業では、火葬炉の全面積替え等の大規模修繕は、平成22年度から25年度で行った。平成27年度は大規模修繕はなく、付属設備の修繕を行った。</p> <p>・霊柩車運行業務助成事業は、受益者負担の観点から事業廃止に向け、関係事業者、斎場地元町内会等と協議調整を行い、平成28年6月末で廃止することを決定した。</p>	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>公園維持管理事業では、計画的な剪定・草刈等の委託により、概ね適正な管理ができています。今後、光熱水費等の維持管理コストの増加が考えられることから、照明器具のLED化(リース)実施により、コスト節減を実現する。</p> <p>権現総合公園整備事業では、現況測量を実施し、今後の民間活力導入の可能性を検討する基礎資料とする。</p> <p>合葬式墓地整備事業においては、工事に着手し平成28年秋の完成供用開始に向け、2カ年の工期で事業実施中であり、運用面においても、条例・規則の改正を完了し、28年10月の施行に合わせ着実に準備を進めてきている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
花とみどりのまちづくりリーダー養成講座卒業生数	人	268(平成14～21年度の累計)	388(平成14～26年度の累計)	500(平成14～27年度の累計)
公園・緑地や水辺の整備に関して満足している市民の割合	%	49.6 (平成20年度)	46.6 (平成26年度)	55

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	06 雨水・汚水を適切に処理する		

<b>基本 方針</b>	下水道の計画的な整備や維持管理を進めるとともに、合併処理浄化槽の設置を促進し、快適な生活環境と安全・安心な暮らしの実現をめざします。
------------------	--

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>公費で負担すべき雨水処理及び汚水処理費について、公営企業への繰出し基準に基づき支出を行うと共に、政策的に一般会計が負担すべき経費については補助金を交付することにより、一般会計からの適正な支出のもと、下水道事業会計の安定的な経営に寄与した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
下水道処理人口普及率	%	87.1 (平成21年度)	90.5 (平成27年度)	88.6
下水道雨水対策整備率	%	41.3 (平成21年度)	43.5 (平成27年度)	45
下水道の整備に関して満足している市民の割合	%	55.8 (平成20年度)	61.4 (平成26年度)	61

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	07 地域の情報化を推進する		

<b>基本 方針</b>	多様化する高度情報化社会に対応するため、情報通信基盤の整備や有効活用を促進し、市民のだれもが情報格差なく生活できる高度情報社会の形成をめざします。
------------------	---

### 秘書室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>一斉同報手段の一つである防災ネットの周知・啓発を様々な広報媒体やイベントを通じて行った。登録者は年々増加しているが増加率も鈍くなってきていることから、さらに利用を促進するための周知や啓発に努める。また、ツイッターやフェイスブックの利用者も増えており、ソーシャルネットワークを活用した情報伝達の充実に努めた。市のホームページについてはアクセス数が減少していることから、ホームページによる積極的な情報発信に努めるとともに継続的な分類構成の見直しやコンテンツの整理などを行う。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市ホームページアクセス件数	件	735,022 (平成21年度)	626,363件 (平成27年度)	1,300,000
防災・生活情報ネットワーク登録件数	件	29,897 (平成17～21年 度の累計)	20,610件 (平成27年度)	61,400 (平成17～27年 度の累計)

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	01 市民と行政との協働によるまちづくり		

<b>基本方針</b>	社会経済環境の変化や市民ニーズの多様化に対応し、地域の個性や特色を生かした活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティ団体や市民活動団体への支援を行うなど、地域力の一層の向上に努めるとともに、市民への市政情報の提供や広聴機能の充実を図り、市民と行政との協働を推進します。
-------------	---

### 秘書室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
懇談会の開催やスマイルメールなどだけではなく、平成27年度からまちづくりオープンミーティングを実施し、市民ニーズをとらえる機会を増やした。今後も広聴の充実に努め、さらに市民の声を集める新たな広聴の手法を検討していく。また、市政情報を多くの広報媒体を用いて積極的に発信し、引き続き市民の市政への参画を促し、市民との協働によるまちづくりを進める。	

### 総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
顕彰事業については、市の公益の増進、市政の発展に尽力された方を功労者として表彰(12名)するとともに、文化・スポーツの分野でめざましい活躍をされた方に対し、さわやか賞を贈呈(12名)した。顕彰事業を通じ、受章(賞)者の功績を広く市民に周知することで、様々な分野において、市民と行政との協働によるまちづくりの意識が高まった。 また、ふるさと納税推進事業については、加古川和牛や靴下など多様な記念品を取り揃え、インターネット等によるPRと寄附の受付を実施した結果、55,022千円の寄附を採納した。当該事業を通じて、全国の方に本市の取り組みや魅力ある地場産品をPRするとともに、産業の振興に寄与することができた。	

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
情報や研修の機会の提供等を通じ、町内会・自治会の活動が自主的で活発なものになるよう支援を行った。また、地域の絆づくりと地域力の向上を図るため、地域住民の活動拠点である自治集会所の建設や機能整備の支援を行った。一方、町内会・自治会には、地域住民の福祉向上の核となる各種委員の推薦、及び生活情報源である広報誌の配付など、行政事務の一部を担ってもらうことで、住民と行政の協働を進めている。 町内会への加入率は現状9割を超す状況ではあるが、さらに加入率が増加するよう施策等を検討、実施していきたい。	

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
市民活動バックアップ補助金制度により、市民の自主的・自発的な活動を支援、促進することができた。	

### 議会事務局

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
わかりやすい議会、開かれた議会を目指し、平成15年度よりケーブルテレビでの一般質問及び代表質問の中継、平成25年度よりインターネットでの録画配信を行っている。さらに、平成27年度からは議会活動の透明性を図るため、議長交際費や政務活動費のインターネット上での公開を開始した。 なお、議場棟は建設後45年以上が経過しており、設備の老朽化や施設機能の遅れが目立ちだした。議会の公開を進めるうえでも、ハード面での対策が不可欠となっている	

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	01 市民と行政との協働によるまちづくり		

選挙管理委員会事務局

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・選挙管理委員会事業:選挙年齢18歳引下げ等、公選法の改正に対応する選挙管理システムの改修を実施した。</p> <p>・選挙常時啓発事業:有権者の政治意識の向上、選挙が明るく正しく行われる事を目的とし、加古川市明るい選挙推進協議会等と連携しながら事業を実施した。特に、若年層の選挙・政治離れ、投票率の低下が指摘されていることから、将来の有権者に対する選挙教育の一環として、市内の小・中・高等学校を対象に明るい選挙を呼びかけるポスターコンクールを実施した。主な啓発事業:有権者向け(政治学講座 4回実施608人参加)、若年層向け(小中高等学校選挙啓発ポスターコンクール 応募1,118点)、(成人のつどい選挙啓発 新成人約1,600名) など。選挙常時啓発事業や市長・市議選挙啓発事業等各選挙時啓発において、即効性のある啓発方法は見出されていないことから、今後も継続して事業を実施していく必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市民団体連絡協議会登録団体の会員数	人	8,039 (平成22年度)	5,764 (平成27年度)	12,000
市民活動や行政との協働が図られていると思う市民の割合	%	43.8 (平成20年度)	39.7 (平成26年度)	47

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	02 効果的・効率的に進めるまちづくり		

<b>基本方針</b>	地方自治体を取り巻く社会経済環境が厳しさを増す中、持続可能なまちづくりを進めるため、経営の視点に立って、効果的・効率的な行政運営と財政基盤の強化に努めます。
-------------	--

### 秘書室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>特別職(市長及び副市長)のスケジュールを週・月・年単位で管理・調整を行い、特別職が計画的かつ効率的に執務に専念できるよう補助するとともに、特別職の健康面にも配慮するように努めた。</p> <p>また、外部の会議や催事に関して事前準備(情報の収集・集約・提供)に努め、特別職の円滑な執務遂行の補助も行った。</p> <p>一方、市としての意思決定に支障を出さないため、内部の調整会議や稟議書の決裁に係るスケジュールの確保にも努めた。</p>	

### 企画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の進捗状況を測るため、市民意識調査から得られる市民満足度を指標として設定し、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする後期総合基本計画を策定した。なお、後期総合基本計画については、市ホームページに掲載している。</li> <li>・平成27年までの将来人口の展望を示した加古川市人口ビジョンと平成27年度から平成31年度までを計画期間とする加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。</li> <li>・「行政改革大綱」を実現するための具体的な取り組みをまとめた「行政改革実行プラン」を策定した。</li> <li>・平成28年度に「公共施設等総合管理計画」を策定するため、施設等の現況をまとめるとともに、市民へのアンケート等を実施した。</li> <li>・固定経費事業等を除く全事務事業(730事業)を対象に事務事業評価を実施した。また、その評価結果を市ホームページに掲載するとともに、市公共施設において公開し、市民から意見を募集した。公開事業評価については、実施時期を約2カ月早めるとともに、評価結果区分の見直しを行い、市民の意見を効果的に反映できるよう努めた。</li> <li>・継続利用可能な新しい住民情報システムの導入に関して、平成25年度に契約し、平成27年度までに7つのシステムが稼働した。</li> <li>・情報セキュリティ監査を実施し、13所属、3システムに対して実施した。</li> </ul>	

### 総務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>限られた人員体制の中で、管理職員を対象とした特別研修である「チーム力向上研修」、「人材育成推進研修」などを実施するとともに、管理・監督職員を対象としたOJTに関する研修を充実させることで、組織運営力や部下育成力の向上を図り、組織全体での人材育成を推進した。また、職場倫理研修及びコンプライアンス法務アドバイザー制度も軌道に乗り、顧問弁護士や法務アドバイザーから継続して研修又は指導・助言を受けることで、全庁的にコンプライアンス意識の高揚に努めた。</p> <p>優秀な人材を確保するため、若手職員を中心としたプロジェクトチームによる職員採用試験の効果的なPR方法の検討を行い、市役所での仕事や職員を紹介するパンフレットを作成し、関係各所へ配付するとともに、兵庫県経営者協会のインターンシップ事業を通じて、インターンシップの受け入れ態勢を充実させ、より多くの学生に就業体験の場の提供を行った。</p>	

# 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	02 効果的・効率的に進めるまちづくり		

<b>基本方針</b>	地方自治体を取り巻く社会経済環境が厳しさを増す中、持続可能なまちづくりを進めるため、経営の視点に立って、効果的・効率的な行政運営と財政基盤の強化に努めます。
-------------	--

## 税務部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
市税の賦課徴収にかかる業務は、市において恒常的な業務であり、その公平性、公正性の確保が常に求められる一方、効率化に向けた不断の取組みが求められる。平成27年度においては、納税通知書の封入封緘やコールセンター業務等、従来から委託により実施している業務は引き続き委託するとともに、ノウハウの集約、事務処理方法の統一などにより一層の効率化、徴収率の向上を図るため、強制徴収公債権の収納業務を債権回収課に一元化するための調整を行った。その他、新システム導入への対応や、マイナンバー制度への対応など、行政の効率化が推進される中、税務にかかる事務の検討、調整を行った。	

## 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
平成27年10月に全市民にマイナンバーを付番し、通知カードを郵送することによりマイナンバーを通知した。通知カードの郵送事務は、地方公共団体情報システム機構(以下機構)に委託して行ったが、大量の返戻郵便が発生した。町内会へ回覧文書を配布するとともに、返戻となった通知カードの受け取りを促す文書を郵送し、休日窓口を開設するなどして通知カードの再交付に努めた結果、ほぼ全市民にマイナンバーを通知することができた。 また、マイナンバーカードの申請についても、市独自の取り組みとして申請用写真の無料撮影サービスを実施し、マイナンバーカードの普及に努めた。 平成28年2月からは、機構に委託して作成したマイナンバーカードの交付を開始した。特設窓口を設置し、土日祝日も原則として窓口を開設してマイナンバーカードの交付を行った。 平成28年3月からは、証明書コンビニ交付サービスを開始し、マイナンバーカードを取得した市民は、市の業務時間に関わらず、全国のコンビニで住民票等の証明書が取得できることとなり、市民サービスの向上につながっている。	

## 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
人材育成事業を通じて職員の資質向上を図るとともに、部の課題解決や業務の効率を高める一助となっている。	

## 環境部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
・先進地視察(柏市、横須賀市、川崎市、東京都北区役所)により、ごみ減量に向けた具体的な施策立案を進めるとともに新エネルギー、省エネに関する補助金について先進事例の調査研究を行った。 ・施設管理に必要な資格取得については、職員の異動等により業務の停滞を招かないよう、継続した取り組みを進める必要がある。	

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	02 効果的・効率的に進めるまちづくり		

<b>基本方針</b>	地方自治体を取り巻く社会経済環境が厳しさを増す中、持続可能なまちづくりを進めるため、経営の視点に立って、効果的・効率的な行政運営と財政基盤の強化に努めます。
-------------	--

### 福祉部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
・福祉行政における課題解決を図るための先進地視察を行い、それらの情報を共有し、成果を反映させるために部内で報告会を実施した。	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
研修会に参加することにより、技術の向上が図られた。 予定していた工事、修繕を計画的に執行することができた。	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
先進事例等の調査・研究について、準備から実施、報告までを主体的に行うことで、業務課題に対応する知識や経験が得られるとともに、職員の企画立案能力の向上が図られている。27年度では、緑の基本計画の推進及び住民参加による移動サービスの実施をテーマに2回の視察研修を実施し、計4名が参加した。	

### 会計室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
・会計事務研修として、財務会計制度、システムの操作方法を事例を交えて行い、知識等を習得することができ、事務向上に繋がった。 ・収納済通知書データ化については、システム構築の委託を開始し、平成28年8月稼動に向けて、準備を進めた。 ・資金運用については、基金において一括運用を継続し、低金利の中でも、確実な運用益の確保が行えた。	

### 消防本部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
年間6名程度の消防職員に対し、本市消防が直面している課題を解決するための取組みを実施している先進地への視察を実施した。	

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	02 効果的・効率的に進めるまちづくり		

<b>基本方針</b>	地方自治体を取り巻く社会経済環境が厳しさを増す中、持続可能なまちづくりを進めるため、経営の視点に立って、効果的・効率的な行政運営と財政基盤の強化に努めます。
-------------	--

### 公平委員会事務局

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>・勤務条件に関する措置要求の審査、判定・職員に対する不利益処分についての不服申し立てに対する裁決及び決定・苦情相談の対応・管理職員等の範囲制定・職員団体の登録など、各任命権者から独立した専門・中立的機関であるため、法に照らして適正かつ迅速な判断を行うための高度な知識や他市町の公平委員会との共通認識を持つことが求められている。平成27年度は・定例会における事例研究の実施・各種上位団体の事業に参加することにより、公平制度の調査、研究や公平委員の知識の向上を図ることができた。</p> <p>平成27年度:措置要求、不服申し立ては無し。苦情相談1件。</p>	

### 監査事務局

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>監査委員および事務局職員を研修等に派遣し、情報の収集を行った。また事務局職員については、テーマを定めて、発表を行ったり、識見監査委員を講師とした新公会計制度にかかる研修を受講するなど、知識習得に努めた。</p>	

### 教育指導部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>昨今、各課において、業務や事業における課題等が山積しており、それぞれのテーマのもと、様々な課題解決策や事業を先進的に実施している自治体を視察先に選定し、対策や体験等を交えた視察を行っている。部内で報告会等を複数回実施し、参加者の増を図ることによって、効果的に課題解決の手法等を習得できており、人材育成にもつながっている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
経常収支比率	%	92.5 (平成21年度)	91.1 (平成26年度)	92
市民1,000人あたりの職員数	人	6.6 (平成22年度)	6.16 (平成27年度)	6.3
行政の効率化が図られていると思う市民の割合	%	27.3 (平成20年度)	31.1 (平成26年度)	35

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	06 まちづくりの進め方	<b>政策</b>	01 まちづくりの進め方
<b>施策</b>	03 広域的な都市間連携によるまちづくり		

<b>基本方針</b>	市民の生活圏の広がりに加え、少子高齢化や災害時の応援、環境問題への対応など広域的に取り組むべき課題が増加する中で、周辺自治体とのさらなる連携・協力や機能分担に努めます。さらに、将来を見据えた戦略的な都市間連携のあり方について検討します。
-------------	--

### 企画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>・2市2町の連携については、若手職員の研究・視察や、首都圏における物産展の開催などの事業を実施し、企画部門の課長級の幹事のみならず多くの職員が交流し、連携を深めることができた。</p> <p>・平成27年3月議会で連携協約の議決を得た播磨圏域連携中枢都市圏形成については、平成27年4月に播磨地域の7市8町がそろって姫路市と連携協約を締結し、更に自治体間の連携を強固にした。また、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる事業を実施し、図書館の広域利用による住民の利便性向上や、スケールメリットを活かした工場ライトアップツアーなどにより、地域の活性化を図った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
隣接市町との広域連携事業数	事業	19 (平成22年度)	—	22
近隣都市との広域的な連携が図られていると思う市民の割合	%	33.7 (平成20年度)	37.0 (平成26年度)	39